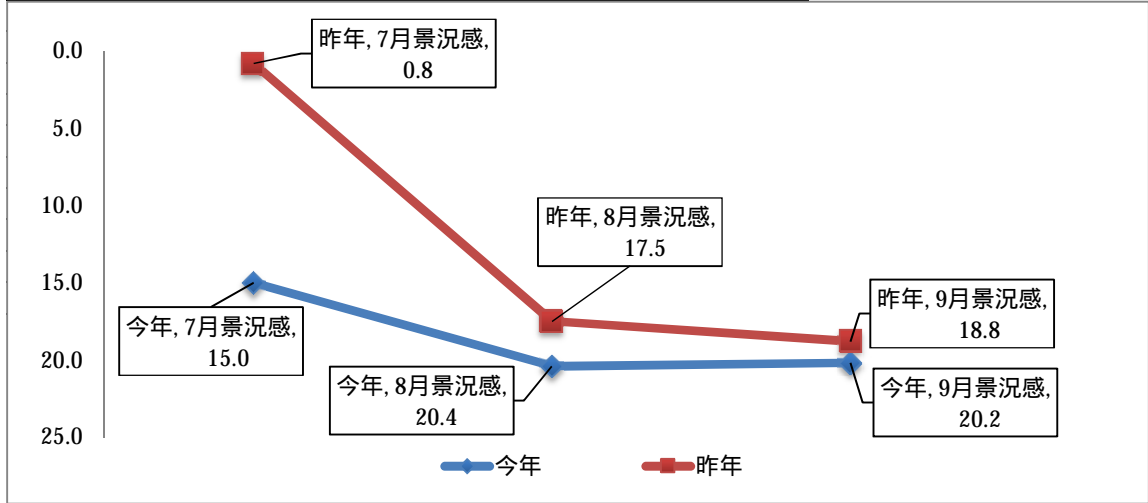


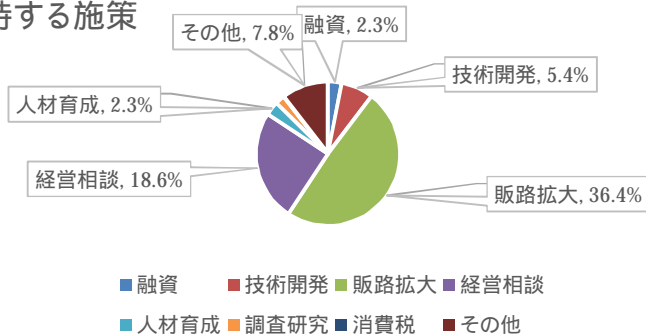
平成28年度会員景況調査(9月)

	7月景況感	8月景況感	9月景況感	2~3カ月先の景況感	H28年度アンケート回答企業数	
今年	15.0	20.4	20.2	14.7	H28.9	129件
昨年	0.8	17.5	18.8	23.1	H28.4~9	755件



期待する施策	割合 (%)
融資	2.3%
技術開発	5.4%
販路拡大	36.4%
経営相談	18.6%
人材育成	2.3%
調査研究	1.6%
消費税	0.0%
その他	7.8%

期待する施策



(会員の声)

- ・昨年同月比、売上10%減少。9・10月は比較的、中高年層の買い替えが多い時期であり期待したい。(自動車販売・修理業)
- ・9月に入り来客数激減。昨年以上に夏休みやお盆の反動を感じている(飲食店)
- ・常連客の高齢化による顧客減少。大型店での低価格販売により配達減(米小売業)
- ・前年同月比で売上げが50%減少(旅客運送業)
- ・昨年あたりから来客数、売上ともに激減。セールも空振り続き(婦人服小売業)
- ・年内の受注までは比較的好調(土木工事業)
- ・昨年に比べ、台風等天候悪化が響き、9月のパーベキュー予約数が減少(飲食店)
- ・資金ニーズにより、解約して一時金受取の件数が増えている(保険業)
- ・降雨続きで全く出荷ができない。市場価格も大幅に高騰(農業)
- ・戸建ての請負が減少しており、リフォームの受注が増えている(工務店)
- ・大手メーカーの精密機器の運送で受注量は安定。近年、入札により受注単価は厳しい(運送業)
- ・仕入値の高止まりが続いている。(精肉店)
- ・売上は上がっているものの、利益は横ばい(一般乗用運送業)
- ・仕入れ単価が高騰。小売価格への転嫁ができない。(飲食業)
- ・昨年の売掛金の回収ができずにいる(設計事務所)
- ・受注量減少に加え単価値下げ要求(精密機器製造)
- ・売れない(売ることができない)ので資金繰りも悪化(農業)
- ・元請けの廃業により、従業員が独立する傾向(土木工事業)
- ・来年、新卒を採用予定。スタッフを増やしていきたい(美容業)
- ・労働力不足を派遣等で補っている(製造業)
- ・外注に依存している(工務店)
- ・仕事が入った際は、人手不足を感じる(木材加工業)
- ・民間車検場で廉価な会社が増えてきた。(自動車整備業)
- ・海外へ生産拠点を移している企業が多く、受注単価が低く抑えられてしまう(縫製業)
- ・常連客の高齢化、若い世代は、理容から美容室へ(理容業)
- ・ネットで格安の車検を見つけ、お客がそちらに流れてしまっている。(自動車整備業)